



た ま し ょ う

こ
玉小っ子

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

令和4年度 玉村小学校
学校だより 第8号
2022年7月6日

先週は毎日気温40℃にせまるほどの異常な暑さとなりました。学校では、暑さ指数(WBGT)を測定し、運動禁止レベルになった場合は、休み時間の外遊びは中止としています。外で遊びたい子どもも多いようですが、安全には変えられません。プールについては、水を足しながら水温を下げたり、プールサイドに水をまいたり、サンダルを履いたり、途中で水分をとったりしながら、熱中症に気を付けて入れるようにしています。

7月1日のリモート全校朝礼では、「あせ」の話をしました。

暑いとあせがでます。なぜでしょう?人間の身体はいつも同じ温度になるようになっています。朝体温を測ると36度0分のようにだいたい同じだと思います。でも、こんなに暑いと、身体の温度もどんどん上がってしまいます。そうすると自然とあせが出ます。あせをかくことで、身体の温度を下げています。あせの正体は、水分と少しの塩分です。だから、水分がなくなるとあせが出なくなってしまいます。そうすると、身体の温度が上がって、気持ち悪くなったり、頭が痛くなったり、気を失ってしまったり、命を落としてしまうかもしれません。これが、熱中症です。だから、あせの元である水分をたくさんとるようにしてください。また、あせをかくと疲れてしまいます。だから、よく寝て、栄養をしっかりとり、体力をつけておくことも大切です。

また、屋外でのマスクについても、もう一度確認しました。特に、下校時はまだ暑い時間なので、外すように呼びかけています。ご家庭でも、ご協力をお願いします。

1学期もあと少しです。暑さに負けず元気に過ごしましょう。



WBGT測定器

温かなの贈り物 ～おやじの会のベンチ修繕～

玉小には、玉小のOBや地域の方、保護者などの有志でつくる「おやじの会」があります。毎年、卒業式、入学式の会場にも花飾りを作ってくれます。おやじの会は、玉小の子どもたちのために、いろいろな活動をしてきていましたが、ここ数年はコロナ禍のため、なかなか活動できませんでした。学校の南の木陰にあるベンチもだいぶ傷んでしまったので、修理しようという話があったのですが、なかなか集まっていた作業ができませんでした。しかし、このところ感染状況も落ち着いているので、7月2日にベンチの修繕を行ってくれました。古いを木を取り除き、新しい木を組んだり、ペンキを塗り直したり、いろいろな技をもっている人も多く、手際よく作業をしていました。

このベンチは子どもたちが暑い中、木陰で休んだり、水筒を置いたりして利用していたので、たいへんありがたいです。大切に使い続けたいと思います。



忘れられない感触 ～3年生の田植え～

6月30日に3年生が田植えを行いました。連日暑い日が続いていたので、心配しましたが、午前の早いうちは風もあり、水を張った田んぼを渡ってくるので、心地よささえ感じました。機械植えの様子を見学し、地域の人に苗の植え方を教えてもらって、裸足になって田んぼに入りました。最初は泥の感触に驚いたり、足が抜けなくなったりしていましたが、だんだんと慣れてきて、作業も早くなっていきました。最後は、「もっとやりたい」という声もたくさん聞こえました。田んぼに足を入れたときの感触は忘れられないものとなったと思います。泥だらけになった足は、用水路の水できれいに流しました。この後、どうに稲が育っていくのかを見ていってほしいと思います。



予定では、夏の終わりにはかかしをつくり、秋には稲刈りを行います。指導してくれた地域の方、お手伝いしていただいた保護者の皆さんたいへんありがとうございました。

<用水路に注意!>

まわりの田んぼも田植えが終わり、用水路に水がたくさん流れています。集会の時に三谷先生からも注意がありました。以下の点に気を付けて下さい。

○膝ぐらいの水の深さでも流されて溺れてしまうこともあります。用水路に近づいたり、用水路の回りでふざけたりはしないで下さい。

○それぞれの田んぼは、用水路から仕切り板で水の調整をしています。稲の生長を見ながら農家の人は調整をしています。板をいたずらで抜いてしまったりすると、苗が水没したり、枯れてしまったりするかもしれません。用水路のいたずらは、お店の売り物を壊してしまうのと同じです。絶対にやめてください。

いろいろ考えて、深め合おう ～道徳の授業～

今年度、玉小では道徳の授業を先生たちで勉強しています。(学校では毎年テーマを決めて、先生同士で勉強しています) 昨年度までは、教科の授業について勉強していましたが一区切りをつけ、心を豊かにする道徳をテーマにすることにしました。道徳といっても一昔前に行われていた、よいと思う方向にみんなの意見をまとめて、先生が説諭をするといったものではありません。いろいろな考えを出し合い、それを比べたり、話し合ったり、交流したりしながら、議論していきます。そして、自分ならと考えていきます。みんな同じ考えになる必要はありません。考えて議論していくことが大切です。



6月29日に4年生の道徳の授業を公開し、玉小の先生方や県や町の教育委員会の先生、大学の先生に参観してもらいました。「ゲームやスマホに熱中しすぎるとなんでいけないのか」を、ご飯中もスマホをいじっていたり、夜遅くまでゲームしてしまったりする2つの4コマ漫画を元に考えていきました。よくないと思うのは同じ意見でしたが、その理由は多様でした。「おこられるからいけない」「自分のためにならないからいけない」「まわりに迷惑をかけるからいけない」……。大切なのは、自分のこととして考え、他の人の考えと比べたりして深く考えられたかです。先生からは「ゲームやスマホに熱中しすぎではいけません」とは決して言いません。でも、振り返りには、子ども自身が、これからどう使っていきたいかが書かれ、よく考えて節度ある生活をしていこうという意欲も見られました。いろいろな考えを出し、深め合って、子ども自身が気づいていく、そんな道徳の授業を創っていきたいと考えています。蛇足ですが、ご飯中にスマホをいじっている4コマ漫画を見て、「ママみたい!!」とつぶやいた子どもがいました。大人の行動を子どもはしっかり見えていますよ。